



上真野 2021



【教育目標】○ 思いやりのある子ども ○ 進んで学習する子ども ○ 体をきたえる子ども

朝の除草ボランティアの様子

キラリと光る学校を もっと自分たちの手で ~気づき 伝え合い なりたい自分をめざそう~

万が一に備えて

9月1日は防災の日でした。

学校では、年間を通して防災教育に取り組んでおりますが、災害はいつ起こるか分かりません。地震は勿論のこと、秋雨前線に伴う大雨も心配です。昨日の給食では「ヒートレスカレー」という温めなくてもおいしくいただけるレトルトカレーでした。『ローリングストック』という言葉が最近よく耳にします。家庭内の食料備蓄を、日常生活の中で少しずつ利用しながら備蓄食品を更新していくことを言うのだそうです。ご家庭でも、いざというときの対応について、お子さんと話し合っ確認してはいかがでしょうか。

万が一の休校に備えて

新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか止まりません。変異株は子ども達にも感染するということが報道等でご存知のことと思います。本校でも、感染拡大防止のために休校になる場合も全く無いとは言えません。そこで、万が一、休校になってしまった場合に備えて、先週からタブレットの持ち帰りを行っております。学年の発達段階に応じた課題が出されておりますが、週末を利用してお子さんと一緒にタブレットを操作してみてください。休校の際には、学校と家庭をリモートで繋いで朝の健康観察やリモート授業などができる環境を整えていきたいと考えております。

もし、ご家庭内での通信状況が良くない場合には、学級担任までご連絡ください。ご家庭と一緒に対応策について考えていきたいと思っております。ICT 機器活用へのご理解とご協力をお願いいたします。

一方で・・・

昨日、全国学力学習状況調査（現6年生対象）の結果が公表されました。福島県全体の特徴として、平日にゲーム（テレビ・PC・スマホ等）を利用する時間が1時間以上の割合は76%、4時間以上は11%という結果でした。また、福島県独自の学力調査（現4～6年生対象）のアンケート調査でも、「一日のPCやタブレットの利用状況調査」について、3時間以上と答えた児童の割合は（福島県：14% 南相馬市：19% 本校：44%）という結果で、本校は市内平均よりも大幅に多い時間インターネットを利用していることが分かりました。

利用時間が多すぎるから一概に悪いということとは言えないと考えます。GIGA スクール構想が推進されている中、子ども達のICT活用リテラシーを高めていくことも求められております。大切なことは、子ども達が家庭内でインターネットやゲームを利用する際、ルールが決められているかだと思います。

利用する時間帯や、利用時間、フィルタリング等など、お子さんと話し合っ「我が家のルール」を決めて利用させることが適切な活用につながると考えます。福島県校長会での調査結果も配布いたしましたので参考にしてください。

『青少年健全育成標語』を紹介いたします（紙面の都合上、学年一つだけの紹介です）

なりたい自分カードです（校長室前）

- 「やさしさで えがおいっぱい なかまたち」（1年 安部結登くん）
- 「あいさつは ききめばつぐん えがおのくすり」（2年 永林美紅さん）
- 「おはようと 毎日えがお うれしいな」（3年 斉藤健太くん）
- 「うれしいな ささえてくれる 友がいる」（4年 小林志帆さん）
- 「だいじょうぶ？ こころの声を きかせてよ」（5年 伏見拓弥くん）
- 「ほっとする 朝のあいさつ 皆そろろう」（6年 斉藤徳香さん）



KAMIMANO 2021



Just in case.

September 1st was Disaster Prevention Day.

Our school has been working on disaster prevention education throughout the year, but we never know when a disaster will strike. Earthquakes, of course, are a concern, as is heavy rainfall associated with an autumn rain front. Yesterday's school lunch was "Heatless Curry", a retort curry that can be enjoyed without heating. I have been hearing the term "rolling stock" a lot lately. It is said to be the practice of updating food reserves in the home by gradually using them in daily life. Why don't you discuss and confirm with your children what to do in case of emergency at home?

Preparing for school closure in case of emergency

The spread of the new coronavirus is not stopping. I'm sure you have heard in the media that the mutated strains can also infect children. In order to prevent the spread of the virus, our school may have to be closed. So, in case the school is closed, we have been taking home tablets since last week. The assignments are developmentally appropriate for each grade level, and we encourage you to take advantage of the weekend to work on the tablets with your children. When school is closed, we would like to create an environment where we can connect school and home remotely for morning health observations and remote classes.

If the communication situation at home is not good, please contact the classroom teacher. Thank you for your understanding and cooperation in the use of ICT devices.

On the other hand..

Yesterday, the results of the National Assessment of Educational Progress (for current 6th graders) were released. As a characteristic of Fukushima Prefecture as a whole, 76% of the students spend more than one hour playing games (TV, PC, smartphone, etc.) on weekdays, and 11% spend four hours or more. In addition, in the questionnaire survey of Fukushima Prefecture's own academic achievement survey (for current 4th-6th graders), the percentage of children who answered that they spend more than 3 hours a day using a PC or tablet was (Fukushima Prefecture: 14%, Minamisoma City: 19%, our school: 44%). This means that our school spends much more time on the Internet than the city average.

As the GIGA school concept is being promoted, it is necessary to improve children's ICT literacy. What is important is whether children have a set of rules when they use the Internet and games at home. Discussing with your children about the time of day they use the Internet, how long they use it, filtering, etc., and setting "our rules" for their use will lead to appropriate use. We have also distributed the results of the survey conducted by the Fukushima Prefecture Principals' Association for your reference.

I would like to introduce the "Healthy Youth Development Slogan"

"Kindness is full of smile and friends" (Yuto Abe, 1st grade)

"Greetings are the best medicine for a good smile" (2nd grade, Mikoh Nagabayashi)

"Good morning and happy greetings every day" (Kenta Saito, 3rd grade)

"I'm glad I have a friend who supports me" (Shiho Kobayashi, 4th grade)

"Are you okay? Let me hear your heart." (Takuya Fushimi, 5th grade)

"A relieving morning greeting, everyone is together" (Honoka Saito, 6th grade)

令和3年9月3日

保護者様

南相馬市立上真野小学校長 高野 伸一郎

福島県小学校長会「『子どものネット・SNS利用の実態』
に関する調査結果」について

全国的に低学年からネットやSNS（「ライン」、メール、チャット、ゲーム内のチャットなど）をめぐる様々な問題が発生し、その対応が喫緊の課題となっております。

福島県でも、子どものネット・SNS利用は年々増え、問題も多数発生している状態です。特に、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業等をきっかけに、ネットやSNS等の利用が増え、様々な問題が起きているのではないかと懸念されています。

こうした状況を踏まえながら、子どもたちや保護者の皆様の負担も考慮して、今年度は、県内の約半数の小学生を対象に、ネット・SNS利用の実態を把握すべく、標記調査を実施いたしました。（低学年は、保護者の皆様のご協力をいただいている場合があります。）

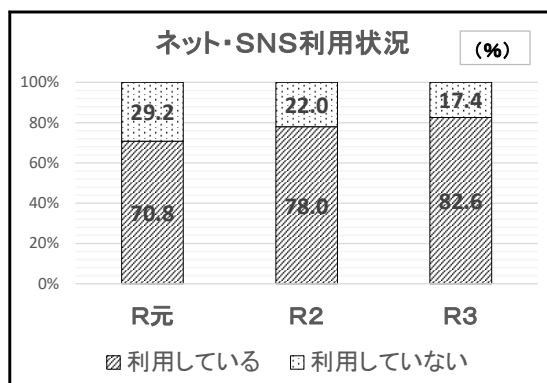
この度、実施しました標記調査の県全体の結果（裏面）が明らかになりましたので、お子様への指導等に活用してください。特に、「ご家庭でぜひ確認していただきたい、適切なネット利用の仕方」については、今後ともご理解・ご協力をお願いします。

なお、本校では特に利用時間の増大の点について特徴的な傾向があり、学年の発達段階に応じて指導に当たっていきたいと考えておりますので、ご家庭でも家庭内でのルール作りを通して、同様に指導していただければ幸いです。

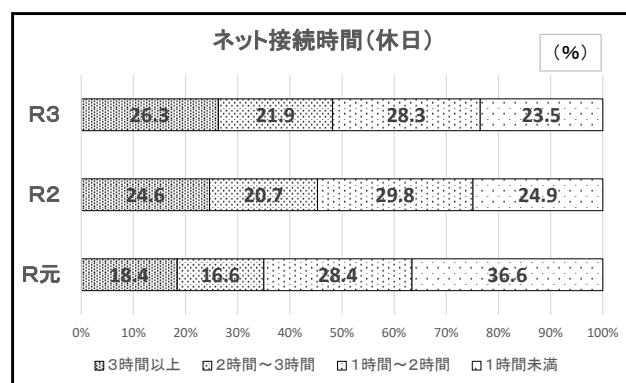
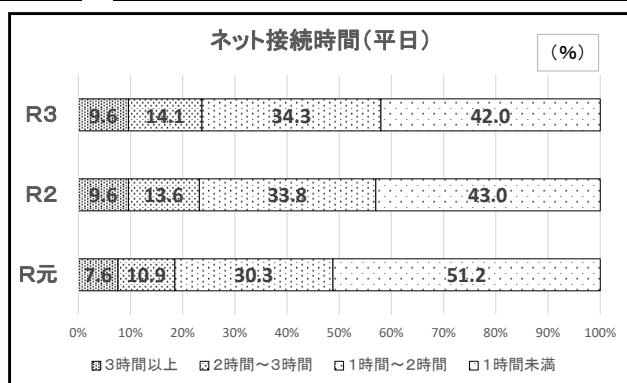
子どものネット・SNS利用の実態

【家庭におけるネット・SNSの利用状況】

- 今年度の調査では、全体の82.6%の子どもがネット・SNSを「利用している」と回答しています。また、利用者のうち、自分の機器（自分のものだけでなく、自分が自由に使える機器）を所有している子どもは63.8%いることが分かりました。
- 利用内容の内訳（複数回答可）をみると、回答の多い順から「動画サイトを見る」、「通信ゲームをする」、「分からないことを調べる」となっています。



【家庭におけるネット・SNSの利用時間】



- 学校に登校している平日の利用時間は、全体的に長時間利用にシフトしていることが明らかになりました。さらに、平日でも3時間以上利用している子どもは、全体の約10%もいることが分かりました。
- 休日の利用時間もほぼ同じ結果で、平日に比べてかなり長時間化しています。3時間以上利用している子どもの割合は、平日の2.7倍を超える26.3%となっています。昨年度と比べて増加しており、長時間利用が常態化していることを裏付けています。
- 利用時間の長時間化に伴い、「ネット依存と思われる状態になった」という子どもが増加しています。利用時間の長時間化に伴う生活習慣の乱れが懸念されます。

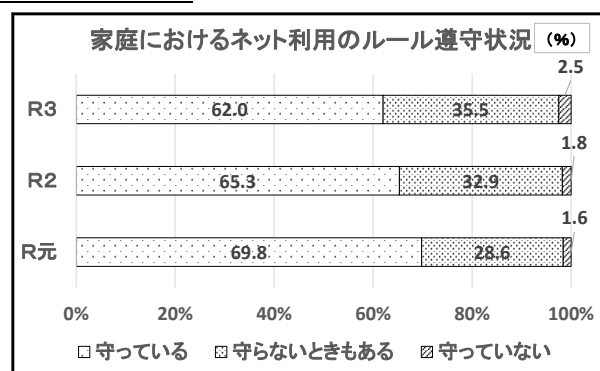
※ 本調査には学校から持ちかえったタブレット端末の利用時間は含まれていません。また、ネット・SNSの利用時間については、新型コロナウイルス感染症の影響も考えられます。



【家庭におけるルールの遵守状況とフィルタリングの設定】

- 「ルールを決めている」と回答した子どもは84.5%で、ここ数年、増加傾向にあります。しかし、「ルールを守っている」と回答した今年の子どもの割合は62.0%であり、年々減少傾向にあります。逆に、「守らないときがある」と回答する割合は、年々増加傾向にあります。

ネット・SNS利用上のトラブルも増加傾向にあり、ルールを遵守できない要因を確かめることが、子どもの安全・安心を守ることに繋がるので、家庭内での定期的な話し合いが望まれます。



- 子どもが使用している機器へのフィルタリング機能を設定している家庭が56.1%という状況です。子どもをネット被害から守るためにも、フィルタリングの確実な設定が望まれます。

ご家庭でぜひ確認していただきたい、適切なネット利用の仕方

現在、国を挙げてICT教育の環境が整えられ、一人一台のタブレット端末の学校や家庭での利用が急速に進められています。子どもたちがネット・SNSと上手に付き合い、ICT機器をツールとして正しく有効に活用していくことが求められています。しかし、その一方で表面に示したように、ネット・SNSに関わる多くの問題が浮き彫りになっています。

平成30年2月1日に施行された改正「青少年インターネット環境整備法」では、18歳未満のスマホ・携帯の利用を把握・管理して教育するのは、「保護者の責務」と定めています。また、平成30年6月には、WHOが、ゲーム依存を疾患に認定するなど、世界的にもネット利用については、多くの問題点が提示されています。

ネットの危険から子どもたちを守り、安心して上手に利用できるように、以下の内容を確認して下さるよう、お願いいたします。



- ① ネット端末機器を購入する必要性、購入した目的を子どもと（再）確認する。
- ② 必ずフィルタリングをする。（設定の仕方が分からない場合は、各通信会社へお問い合わせください。無料で設定ができます。）
※ 青少年インターネット環境整備法：18歳未満には必ずフィルタリングする。
- ③ 利用する際の家庭内のルールを子どもと相談して決め、文章化しておく。決めたルールが守られているか定期的に話し合い、見直す。
- ④ インターネットの特性（情報モラル、セキュリティ、フィルタリング）や危険性を保護者が積極的に学び、子どもと確認する。
- ⑤ 子どもがどんな使い方をしているか確認する。（家の中だけでなく、外での使用も含めて）
- ⑥ 保護者自身が適切なインターネット利用を心掛け、手本となってよいマナーを学ばせる。

困ったことが起きたときは、下記の専門機関にもご相談できます。

<相談機関>

- ふくしま24時間子どもSOS（福島県教育委員会） 0120-916-024
- 福島県消費生活センター 024-521-0999
- 都道府県警察の少年相談窓口 <http://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/soudan.html>
- 警察庁相談ホットライン 024-525-8055・#9110（プッシュ回線のみ）
- 匿名通報ダイヤル（警察庁） 0120-924-839 <http://www.tokumei24.jp/>

※ お子さんをネット被害から守るために、よろしくお願いします。

東京オリンピック2020では、選手等に対するネットやSNS上での誹謗中傷が大きな問題となりました。今や私たちの生活に不可欠なネット社会を「フェイクニュースに溢れ信頼性の低い社会」にするのか、それとも「正しい情報と人々の温かさに溢れる豊かな社会」にするのか、今、私たち大人の見識が問われています。お子さんと一緒によりよいネット環境についても考えてみてください。